

公 告

次のとおり条件付一般競争入札に付します。
令和5年3月9日

地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
理事長 樗木 等

1 入札に付する事項

- (1) 物 件 名 令和5年度「文具等消耗品（15品目）」単価契約
- (2) 調達物品の仕様等 入札条件書による
- (3) 契 約 期 間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- (4) 納 入 場 所 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館
- (5) 入 札 方 法 入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2 入札参加資格

- (1) 佐賀県の「物品の製造、修理又は購入に関する競争入札に参加することのできる者の資格及び資格審査に関する規程（昭和41年佐賀県告示第129号）」第1条の規定に基づく入札参加資格を、入札書の提出期限の時点で有すること。
- (2) 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館事務取扱規則第2条第5項に該当する者でないこと。
- (3) 会社更生法（平成14年法律第154号）または民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき更生手続開始または民事再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。
- (4) 開札の日の6か月前から開札の日までの間、金融機関等において手形または小切手が不渡りとなった者でないこと。
- (5) 佐賀県発注の契約に係る指名停止処分を受けている者でないこと。
- (6) 自己または自社の役員等が、次のいずれかに該当する者でないこと、および次に掲げる者が、その経営に実質的に関与していないこと。
 - ① 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
 - ② 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - ③ 暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者
 - ④ 自己、自社若しくは第三者の不正な利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって暴力団または暴力団員を利用している者
 - ⑤ 暴力団または暴力団員に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなど、直接的または積極的に暴力団の維持運営に協力し、または関与している者
 - ⑥ 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - ⑦ 暴力団または暴力団員であることを知りながらこれらを利用している者
- (7) 入札参加資格者が入札までに入札参加資格条件を満たさなくなった場合、入札に参加出来ないものとする。

3 入札者に求められる義務

- (1) 入札に参加しようとする者は、入札参加届を記入のうえ、令和5年3月17日午後5時までに4（1）の部署に持参または郵送すること。

4 入札書の提出場所等

- (1) 入 札 書 の 提 出 場 所 郵便番号 840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
佐賀県医療センター好生館 財務課契約係
電話 0952-28-1153
- (2) 関係書類の交付方法 令和5年3月9日から令和5年3月17日まで、佐賀県医療センター好生館ホームページ（<http://www.koseikan.jp>）に掲載する。
- (3) 入 札 書 の 提 出 方 法 入札書を封筒に入れ密封し、（1）の部署に持参または郵送すること。
なお、封筒の表面には「令和5年度「文具等消耗品（15品目）」単価契約入札書在中」と朱書きすること。
郵送の場合は書留郵便とし、（4）の期限までに（1）の部署に必着とする。
期限内に届かなかった入札書は無効とする。
- (4) 入 札 書 の 提 出 期 限 令和5年3月17日 午後5時00分必着
- (5) 開 札 日 時 お よ び 場 所 令和5年3月20日 午前10時00分
佐賀県医療センター好生館 応接会議室B
- (6) 入 札 の 延 期 天災その他やむを得ない理由により入札または開札を行うことができない場合は延期することもあるので、事前に（1）の部署に確認すること。

5 その他

(1) 契約保証金

地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館契約事務取扱規則第18条第1項第3号により免除する。

(2) 入札の無効

次のいずれかに該当する者が行った入札は、無効とする。

- ① 参加する資格のない者
- ② 当該入札について不正行為を行った者
- ③ 入札書の金額、氏名および印影について誤脱または判読不可能なものを提出した者
- ④ 民法（明治29年法律第89号）第95条により錯誤に基づくと認められる入札書を提出した者
- ⑤ 1人で2以上の入札をした者
- ⑥ 代理人でその資格のない者
- ⑦ 前各号に掲げるもののほか、競争の条件に違反した者

(3) 入札の中止

次の各号のいずれかに該当する場合は、入札を中止する。この場合の損害は入札者の負担とする。

- ① 入札参加者が連合し、または不穏の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるとき。
- ② 天災その他やむを得ない理由により、入札または開札を行うことができないとき。

(4) 契約書作成の要否 要

(5) 契約者および契約額の決定方法

- ① 予定価格の制限の範囲内で申込みをした者を契約の交渉権者とし、その者が複数の場合は、申込みをした価格が低い者から順に交渉順位を付する。なお、最も価格の低い者が2人以上あるときは、再度入札（第1回目を含め5回を限度）により上位の交渉権者を決定する。
- ② 入札がなかった物品及び予定価格に満たさず不落となった物品については、その場で再度入札を行う。再度入札は入札参加資格者が立ち会うこと。再度入札の立ち会いが不可能な場合、入札書提出期限までに「再度入札辞退届」を提出すること。
- ③ 交渉権者のうち最も価格の低い者を第一交渉権者とし、その者との交渉により契約額を決定する。なお、交渉が不調となり契約締結の見込みがないと判断した場合には、交渉順位に従い他の交渉権者と交渉を行い、契約額および契約者を決定する。

(6) 詳細は、入札条件書による。